

令和7年第5回八峰町議会臨時会会議録

令和7年8月7日（木曜日）

議事日程第1号

令和7年8月7日（木曜日）午前10時開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 諸般の報告

第4 議案第58号 令和7年度八峰町一般会計補正予算（第4号）

出席議員（11人）

1番 笠原吉範	2番 伊藤一八	3番 奈良聡子
4番 芦崎達美	6番 菊地薫	7番 腰山良悦
8番 見上政子	9番 須藤正人	10番 門脇直樹
11番 山本優人	12番 皆川鉄也	

欠席議員（1人）

5番 水木壽保

説明のため出席した者

町長 堀内満也	副町長 田村正
教育長 鈴木洋一	総務課長 和平勇人
財政課長 堀内敬文	企画政策課長 高杉泰治
建設課長 浅田善孝	防災町民課長 工藤善美
農林水産課長 堀内和人	商工観光課長 成田拓也
税務会計課長 今井利宏	福祉保健課長 菊地俊平
教育次長 山本節雄	学校教育課長 山本望
生涯学習課長 鈴木美由紀	農業委員会事務局長 内山直光

議会事務局職員出席者

議会事務局長 石上義久	議会事務局庶務係長 須藤佳奈子
-------------	-----------------

午前 10 時 00 分 開 会

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

これより令和 7 年第 5 回八峰町議会臨時会を開会します。

5 番水木壽保君から、入院治療のため欠席届が提出されておりますので、ご報告いたします。

ただいまの出席議員数は 11 名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第 124 条の規定により、11 番山本優人君、1 番笠原吉範君、2 番伊藤一八君の 3 名を指名します。

日程第 2、会期の決定を議題とします。

本臨時会の会期は、本日 1 日限りとしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は、本日 1 日限りと決定しました。

日程第 3、諸般の報告を行います。

議長報告につきましては、別紙報告書のとおりでありますので、朗読は省略させていただきます。

堀内町長より発言を求められておりますので、今議会提出議案の提案と併せ、発言を許します。堀内町長。

○町長（堀内満也君） おはようございます。

本日、令和 7 年第 5 回八峰町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

開会にあたり、本臨時会を招集した経緯についてご説明いたします。

町では、高付加価値的かつ持続可能な「体験型・滞在型観光ツアー」の開発を目的に、観光協会や商工会等の関係機関と連携し、地域食材を活用したメニュー開発やポンポコ山バンガロー村の改修等に取り組むこととしております。

このたび、国の補助事業に採択されましたので、関係予算を本臨時会に提案するものであります。

それでは、今議会に提案している議案についてご説明いたします。

議案第58号、令和7年度八峰町一般会計補正予算（第4号）は、既定額に2,590万円を追加して、歳入歳出予算の総額を68億1,294万2,000円とするものであり、主な内容は、「地域観光魅力向上事業」の追加であります。

以上、今議会臨時会の議案は1件であります。

詳細については議案提案の際にご説明いたしますので、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○議長（皆川鉄也君） 日程第4、議案第58号、令和7年度八峰町一般会計補正予算（第4号）を議題とします。

当局の説明を求めます。田村副町長。

○副町長（田村 正君） それでは、議案第58号、令和7年度八峰町一般会計補正予算（第4号）についてご説明いたします。

令和7年度八峰町の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,590万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億1,294万2,000円とするものでございます。

補正後の歳入歳出予算の金額につきましては、「第1表 歳入歳出予算補正」のとおりでございます。

第2条、地方債の変更につきましては、「第2表 地方債補正」のとおりでございます。

令和7年8月7日提出

八峰町長 堀 内 満 也

3ページをお開きください。

第2表、地方債補正の変更についてでございますが、ポンポコ山公園バンガロー村の大規模改修事業に充当する町債の限度額を1,420万円とするものでございます。

7ページ・8ページをお開きください。

歳入歳出予算の補正内容について、事項別明細書に基づいてご説明いたしますが、このたびの補正は、観光庁から採択された新規事業の追加によるものでございます。

はじめに、歳入についてでございます。

15款国庫支出金2項6目商工費国庫補助金1節観光費補助金につきましては、地域観光魅力向上事業費補助金750万円を追加するものでございます。

20款繰越金につきましては、歳入歳出補正予算全体の財源調整のため、420万円を追加するものでございます。

22款町債1項4目商工債1節観光施設整備事業債につきましては、ポンポコ山公園バンガロー村大規模改修事業に充当する合併特例債1,420万円を追加するものでございます。

続きまして、歳出をご説明いたします。

9ページ・10ページをお開きください。

7款商工費1項3目観光費につきましては、12節委託料のうち、1つ目の地域観光魅力向上事業委託料は、地域食材を活用したメニューの開発、体験型・滞在型ツアー商品の造成及びガイドの育成を行うための経費として890万円を追加するものでございます。2つ目のバンガロー改修工事設計監理業務委託料は、老朽化したポンポコ山バンガロー村について、地元木材を活用してインバウンドにも対応できるようリノベーションを行うための設計監理業務委託料100万円の追加でございます。

次の14節工事請負費につきましては、ポンポコ山バンガロー村の改修工事として1,600万円を追加するもので、主な内容としましては、2段ベッドの急勾配階段の解消やシャワーユニットの入れ替え、温水洗浄便座への取り替え、照明のLED化などとなっております。

説明は以上でございます。何とぞよろしくご審議いただき、ご可決賜りますようお願い申し上げます。終わります。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第58号について質疑を行います。質疑ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） バンガローの改修についてもう少し詳しくちょっと説明をお願いしたいんですけれども、私も2011年の災害の時に、原発の近くに住んでる人が家族でバンガローに住んでいたのを何回か訪ねてちょっと見たことあるんですけれども、家族4人がそこで3カ月くらい生活してたのかな、そういうことがありますけれども、そのバンガローの修繕、今、階段の急勾配、私も2段ベッド見たことあるんですけれども、どういうふうな急勾配だったのかということとか、バンガローが何軒あるのか。それから、資料を見ると、まあ一人一人でインバウンドで利用する場合とかありますけれども、これがちょっとバンガローの大きさが何種類で何戸あるのか。その辺も含めてちょっと説明をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

ポンポコ山のバンガロー村のバンガローについては、4棟ございます。面積は全て同じです。

急勾配といったその段階のところですけども、2段ベッドが2組向かい合ってるような状態ですけども、床から上のベッドまで、まあいわゆる梯子が垂直になっている状況ですので、この垂直のものを勾配をつけて緩やかにしたいという中身です。

それから、修繕の主な内容としましては、そのベッド周りのところを新しく少しインバウンド向けということもありまして、大きさを広めに造りたいと考えております。また、資料にもありますけれども、大型ユニットのシャワーに交換するなど利便性も快適性も向上させるようにしたいと考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ありませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） この魅力向上事業委託料890万円あるんですが、どうもこの事業のですね内容について、まあ新しいメニューを作ることだけでですね、どういうふうに進めていくのか。そして、どこに、この事業が始まったらどこにどう委託して、そういう食品を作っていくのかというのはあんまり見えてこない。実はですね、まあ前に農林水産物処理加工施設、立派な建物ができました。塩の工場、そして半分はその運営委員会みたいなものを作ってですね、その工場の中で新しい食品メニューを作っていくと、そういう事業でした。ところが相当町でもですね毎年投資をして、結局は何の開発もそういう商品もできなくてですね、終わってしまったことがあります。町独自でですね、こういう事業を主導していくと、必ず失敗します。業者がですよ、こういうことをやりたいから町で応援してくれというのであれば、これは私は成功すると思うんですが、町が主導してですね、こういうものを作りましょう、新しいメニューを作りましょうといっても、なかなかできない。それが今までの経緯であります。

例えばですよ、ハタハタ寿司、それからギバサ、あれは業者がですね、町民の業者がやっぱりいろいろ研究して、真剣にこの商品を作ろうとして、町の補助も受けなくて、そして今、ああいうふうな立派な企業になっております。これが本当にね、またこの前の農林水産物処理加工施設と同じような経緯をたどるんじゃないか。これ今、890万円

の委託料ですよ、事業が始まるとまたその予算措置が行われるというふうに思います。どうもこの事業のですね、もう少し詳しいところを、ここで町の考えをですね、お聞きしたいというふうに思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の質問に対し、答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの須藤議員のご質問にお答えいたします。

本事業におきまして委託料でみている内容につきましては890万円という金額でございますけれども、そのうち飲食関係の関係で、食をターゲットにした地元食材を活用した新メニューの開発といったところに583万円、これにつきましては、地元の飲食関係の皆様から様々な意見をいただく場面も想定しておりますけれども、町にとってこれまで様々な魅力ある食材はあるわけですが、それをまあ外からのお客様により魅力のあるものとして、これまでにないものをメニュー開発したいと。それを中心に売り込んでいきたいといったことで、今回この地域食材を活用した新メニューというものを考えております。ハタハタ寿司ですとかギバサはもちろんですけれども、輝サーモンであったり、黒椎茸、また生薬、日本酒、そのほかにもたくさん町の特産品ありますので、そういったものを、まあ外部のアドバイザー、有名シェフというものを想定しておりますけれども、外部からのそういった専門的なアドバイスをいただいて新しいメニューを作って、それを商品化して販売に結びつけたいといった事業で考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ありませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） まあ専門のシェフを来てもらってですね、そういう商品開発をするということではありますが、そういうね有名な人を連れてこなくても、地元のその業者が商店が店がそれぞれですね研究して、そしてその外部のお客様さんに提供すると、そういうことを、ただね、その有名な人を連れてくればそのものが立派なものになってね、物が売れると、私はそうは思わないんですよ。こういう予算をつけなくても少しの予算で、町の食堂や飲食店、そしてお店や、いろんな人を集めてですね、そういう開発をすると、私はそれでいいのではないかなと思うんです。まあ確かに過去にも光風舎という会社が、厚生医療の関係の会社があって、そういう研究をした時代がありました。でも、まああまり活発でなくて、いい商品も売れなかったというのが実情であります。どうもね、この外部から高い講師料を出して人を呼ぶといいものができて売れると、そ

ういう安易なですね考え方で本当にいいのかなと。そういう大枚のお金を使ってですよ、もっといい方法があるような気がするんですよ。まあどうしてもこれをやりたいというのであればですね、まあ進めていって、本当に八峰町のですね特産品となるようなそういうものを作ってほしいんですが、まあ皆さんのこの考え方、まあ賛成してですね、まあ私は受け入れたいと思いますが、十分過去のそういう苦い事業、そういうものを反省をしながら、この事業を進めていただきたいというふうに思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 須藤議員のご質問にお答えいたします。

一番最初の質問の際にですね須藤議員おっしゃっておいりました、いわゆる行政が主導してはいいものはできないだろうと。私、議員と同じ考えでございまして、やはり何でもかんでも町がですね指揮を取ってしまうと、いいものはできないんだと私も思っております。ただ一方で、この八峰町には非常にいいものがある。先ほど課長もおっしゃいましたけども、まあお酒だったり、椎茸だったり、そしてまた最近ではサーモン、それ以外にもアワビだったり、たくさんいいものがある中で、なかなか新しいメニューにはこう繋がっていないなというところがございます。

先ほど一つの事例として有名シェフというような話をしましたけれども、それも一つのですよね手段であって、それがメインではないと私も思っております。

いずれですね、地域にはハタハタ寿司、先ほど議員のおっしゃったハタハタ寿司だったり、あるいはお酒だったり、いろんなこの民間の人方が頑張ってる今のこの八峰町の文化があるというふうに私も考えておりますので、そういった方々とですね、もっとこう一緒になって新たなものを作っていこうという考えでおりますので、引き続き議員の皆様からのご指導いただきながらいいものを作っていきたいと思っておりますので、どうぞご理解の方、よろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ありませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） 須藤議員と似たような内容になりますが、答弁よろしく願いします。

来月、行政視察で関東方面に行きます。毎年視察であちこち行ってるわけですが、その際、相手側に、視察先に何を土産に持っていこうか、いつも意見がまとまりません。地域食材を活用したメニュー開発とありますが、これが八峰町だっていう商品開発。今までこういう議案は何度かあったはずなんです。それでもこれといった商品が生まれ

ていない。例えば、さっきも町長がアワビとかサーモンとか山本とか言いましたが、壊れたり、賞味期限を心配しないで、どこにでも気軽に持っていけるような商品の開発、これをそろそろ本腰を入れる時期だと思います。名目だけでなく、しっかりした計画を立てて商品開発に挑んでいただきたいと思います。町長答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 門協議員のご質問にお答えいたします。

私もですね、いろんなところに行くと、様々なお土産を持ってて町のPRをしているところがございます。やはり門協議員おっしゃるとおりですね、冷凍物とか、やはり壊れやすいものというのは、なかなかお土産になじまないというところで、実は就任してからですね、民間の方々にいろいろこう話をしながら商品開発をお願いしてきているところがございます。そういった中で、実は岡本さんのところでやっております、何だっけか、あれ、瓶に入った。

（「N o r t e C a r t a」と呼ぶ者あり）

○町長（堀内満也君） あ、「N o r t e C a r t a」の瓶詰めのやつですとか、あるいは農家の阿部昌子さんなんかがですね、自分の自宅で作ったお米とエゴマを使ってですね、おせんべいの開発もしてくれました。当然ですね、そういったところもあるわけでございますけども、もっともっとですね、門協議員が言うとおりの、まあお土産に関して言いますと、「これが八峰だよな」というようなものをですね、もっとこう皆さんの知恵を拝借しながら新たな商品開発ができればいいなと思っております。

そしてまた、こちらに書いてある資料の「食べる」というところのメニュー開発につきましては、いわゆる八峰町にお越しいただいた際にですね、「八峰に来るとこういったおいしいものがあるよね」というような、そういったこう特化したメニューも何か開発できればいいかなというふうに考えておりますので、そういったところも含めて幅広く八峰町をPRをできるようなものを作っていきたいなと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ありませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） ちょうどいいあんばいに町長から「N o r t e C a r t a」の話が出ましたので、私もプライベートであちこち行く時、ハタハタ館に「N o r t e C a r t a」だよな、をお土産にしようと思って買いに行ったことがあります。ところが、買って何に入れて出てくるかと思えば、ナイロン袋です。いや、化粧箱ないのと

言ったら、置いてないと。その後に、袋入りだとちょっと相手先に格好つかないから、2個入れ、3個入れ、4個入れ、5個入れぐらいの、それぞれの用途に合った箱ぐらい用意させろと言いました。多分、今も用意してないと思います。だからメニュー開発だけでなく、売る側の姿勢、売りたいという姿勢も一緒に開発するべきだと思います。町長もう一回。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正におっしゃるとおりでございます。私もその件につきましてはどうかならんかなと思ったところでございますけども、実はですね、あの瓶詰めに関して言いますと、我々役場の方ではほかに持っていくからお土産でと言うとですね、実は箱詰めしてくれてるんです。で、そういったことおそらくできますので、まあ民間がやってることなので、なかなか行政としては意見することは難しいところではございますけれども、そういった意見があるよというところをですね、また町としましても事業者の方にしっかりと伝えてまいりたいなと思っております。ありがとうございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。1番笠原吉範君。

○1番（笠原吉範君） 先ほど須藤議員がおっしゃったこと、私、そのとおりだと思っております。私が飲食店を経営するようになってから満16年、今、17年目に入りました。その間ですね、町から様々な要望でメニュー開発をした経緯がございます。最初はですね、たしか塩もろみを使った料理ということで、で、その次はですねキキョウの根を使ったメニュー開発をしてくれと。最後はアワビでした。で、そのたびに立派なパンフレットを作って、共通メニューとして八峰町の飲食店で出したんですが、いつの間にか尻切れトンボになってしまう。今、もうおそらくどこもやってないんじゃないかなと思うぐらいです。ですから、やるのは結構なんですけど、「継続こそ力なり」という言葉がございますので、やる以上はですね、しっかりとこう長くやればやるほど有名になっていくものですから、これ、アワビのメニューなんか非常に残念で、私、今、ほかから仕入れてアワビのメニュー出してるところです。ですから本当にせっかくいいものも、飲食店の協力を得ても途中で尻切れトンボになるようなことはやめていただきたいと思います。賛成はしますが、そういった姿勢を忘れないで取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの1番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 笠原議員のご質問にお答えいたします。

貴重なご意見ありがとうございます。正にですね、そういった過去の経緯っていうところも踏まえまして、この事業をしっかりと展開していきたいと思っております。そしてまた、隣の深浦町さんなんか見ますと、確かにですねマグロを全面的に出していろいろ展開していたようでございますけども、そちらの方も聞くとですね、やはりこう議員おっしゃるような尻切れトンボになったような話も聞いております。ほかの地区でもそういった同様のことがありますので、しっかりと過去の反省をですね、しながら、そういったことがないようにこの事業を進めてまいりたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 私はちょっと2点についてお伺いします。

先ほどから町のメインとしてのお土産ということで話が進んでますけれども、私も前々から感じてるのは、お土産として持っていくためのお菓子が無いというか、ハタハタ最中をちょっとお勧め、まあ名前言ってちょっと悪いんだけど、お勧めするにはちょっとっていうところがあります。で、八峰町ならではのやはりお菓子のノウハウを持った、まあ能代の有名な老舗のところで働いた方も八峰町にはおります。そういう人たちと何かこう連携を組んで、そういうこう何かワークショップみたいなのを開いて、それでお菓子の開発を始めるとか、まあ長野の方に行った時は、町が一緒になって松ぼっくりの最中、まあ食べたけども大変おいしかったんですが、それと七味唐辛子、これはお土産にもらってきましたけれども、これスーパーでも売ってました。その村で開発したものが。で、やはり八峰町ならではの、まあ梨のお菓子と、それから最中のお菓子、そういうのをやはりこう個別に開発するものを協議会を作って進めるべきではないかなと思っております。

それと、まあ資料を見ると「遊ぶ」ということで22万円の予算が出てますけれども、これじゃあちょっと不十分だと思うんです。まあ留山の整備とかありますけれども、まあ何回かいろんなこう質問して、サイクリングロードのできるようなとか、自転車を山本合名でも置いてるようですけれども、それに見合う環境整備ができてないと、私は毎日毎日国道を走って、それからビューシーラインを走って思ってます。もう森がこんもりこんもりして、もうちょっとこのぞけば怖いようなところが一杯あります。で、まず明るい、八峰町に入ったら山も整備されて国道側も整備されて明るいっていう、

ビューシーラインも含めて明るいやはり環境整備っていうものにもっと力を入れて、歩道の草はきれいに取る、国道の脇の草は常にきれいに刈り取って、それで国道の脇は明るい。まあ入った途端にこんもりこんもりしたところがもう一杯一杯で、これでインバウンドがうまくできるのかなっていうところを感じてますので、その辺のところを考えをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

お土産に関するところで、お菓子の開発といったご助言だったかと思います。様々な食材を活用して町ならではのそういったお土産の開発については、もちろんお菓子類だったり、果樹を使ったものも含めて色々検討していくべきだと考えております。まあ協議会を作ったというところまでできるかどうかはちょっと明言できませんけれども、地域の様々な事業者さんの意見を伺いながら検討してまいりたいと思います。

それから、環境整備の部分についてですけれども、議員おっしゃいますとおり観光客がこの地を訪れるといったところは、お客様の旅行の目的として様々な要素があると思います。食だったり、そういった景色・景観を楽しむですとか、あとは、ここならではの体験メニューですとか色々あるわけですが、一番のその町に来て最初の印象といった部分では、やっぱりそういう景観の整備というものは大変重要になってくるかと思います。関係部署、関係機関にそういったところをきちっと整備充実できるように連携して取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 高杉企画政策課長。

○企画政策課長（高杉泰治君） ただいまの成田課長の回答にちょっと補足する形で私の方からも一言申し上げいたします。

実は企画政策課の方につきまして、ふるさと納税の返礼品の方につきまして更なる充実を図りたいということで、ふるさと納税の返礼品検討会議というものを今年の春に一度開いております。そしてまた8月の下旬に第2回目を開くこととしております。こちらの会議の方ですけれども、町内の主要な事業者さん等から集まっていただきまして、新たな商品開発できないものか、何かもっとこう魅力のある商品の方、出すことができないかということでお集まりいただいていろいろな意見交換も行っておりますので、そ

ちらの方も併せてこう進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 私から意見といいますか質問といいますか、今までいろんなご意見伺いましたが、今までこの新商品開発、様々な事業名でもってやってまいりました。どうしても事業をその立ち上げた内容というのは、どうしてもこのような形で立ち上げなければいけない。もちろんそうだと思うんです。これはこれで私、否定もしませんが、先ほど須藤議員がですね有名シェフ云々という話もしました。町内の事業者を集めて、飲食店を集めてっていう話も出ましたが、これ非常に難しい課題がありまして、飲食店というのはね、いろんなノウハウがそれぞれ違って、プライド的なものがあるんですよ。ですから、集まって同じような商品をみんなで考えて作りましょうといった時に、その商品が一つ出来上がった、じゃあその商品をどこで販売していくのかというのが次に来るわけで、ですから、なかなかこれを一本化して一つのものであるというのは非常に厳しい。その後のことを考えれば、私、難しいと思う。その一つの、まあそれをクリアした形が観光協会か商工会で連携した、先ほど笠原さん申し上げましたが、数年、もう十数年前かもしれません、アワビを使ったそのメニューを、それぞれの店舗が持ち寄って並べたやつを、それこそパンフ作って、それぞれの店舗でそれを販売しました。それがずっと継続してきたんだけど、そのメインであるアワビが手に入らなくなった。それでもう尻切れトンボになってると、そういう状況がございます。ですからなかなかですね、出来上がったいろんなこの町の代表するような、それこそ食材が町長があるあると言いますけれども、これを一堂に会して一つのものであるのは結構なんです、これから先も非常に大きな課題がそこに生まれると、このように思っております。ですから、私、この事業に対して否定はしないんですが、やはりその後のことも考えながらですね進めていかないと、また今いろいろ指摘されたようなことがまた起こってくるということが私の意見でございますので、何かありましたら町長ひとつ。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 菊地議員のご質問にお答えいたします。

菊地議員、本当に貴重なご意見ありがとうございます。いずれそうした過去のですね経験というところをしっかりと我々当局側も踏まえまして、その作った後の展開、そこまで見据えた事業をしっかりと進めていきたいというふうに思っております。いずれ過去

いろいろ失敗しているというような話も聞いておりますので、同じ失敗をしないようにしっかりとそういったところを肝に銘じて事業を進めてまいりますので、議員の皆様からもご指導いただきたいですし、そしてまた、その飲食店側の立場として笠原議員、そしてまた菊地議員が先輩としておりますので、そういった方々の意見をですね、しっかりと反映させながら、この事業を展開してまいりたいというふうに考えておりますので、今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） これまで様々な意見が出まして、過去の経緯を踏まえた上での意見であったわけですが、私、その過去の件はあまり詳しく知りませんので、ちょっとこの事業そのものについてお聞きしたいと思います。

まず、町が主導するとあまりうまくいかないのではないかという意見もありましたけれども、やはりその民間の事業者を取りまとめて町がやっぱり音頭を取っていかないと、観光はなかなか前に進まないと思いますし、せっかく採択されたわけですから、まあ予算を有効に使って成果が出るように頑張ってもらいたいと思っています。

で、この「食べる」、これに583万円の予算がついておりますが、これは予算の内訳があると思うんですけども、講師の招聘とかかなりかかるとは思いますけども、これに加工品の開発は含めれているのでしょうか。ていうのは、私は加工品まではおそらく含まれていなくて、そこまでやるにはちょっと足りない予算だと思います。加工品は加工品で、まあ今、高杉課長の方からありましたように、ふるさと納税の商品開発の検討を進めていると、それはそれで別枠でやっていただければいいかと思います。ですので、これに加工品の開発についての予算は含まれているのか、まずこれを1点お聞きしたいです。

それからですね、まずその1点、答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の質問に対し、答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの奈良議員のご質問にお答えいたします。

新メニューの開発といったことでご説明してまいりましたけれども、当初のイメージとしましては、まあ宿泊事業者さんがお客様を泊めて料理を提供する際に、町のいろいろな食材を取り込んだ新しいものとして提供するというのが主で考えておりました。ですので、お土産品といったようなところまで広げられるかはちょっとこの後いろいろ検討

が必要かと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） まず、町を訪ねてこられたお客さんに対するその、に提供する料理のメニューをしっかりと開発してほしいなと思います。そのためにはですね、やっぱり食材の安定供給というのがこれ絶対条件だと思うんですよ。サーモンはそれに応えられるのか。応えられなければ、それをどのようにしてこう応えられるようにしていくのかは、そこまで検討が必要だと思いますけども、それについてはどう考えてますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。成田商工観光課長。

○商工観光課長（成田拓也君） ただいまの奈良議員のご質問にお答えいたします。

様々な特産品、まあ季節、旬があるものもたくさんあります。正にサーモンにつきましては、通年確保というのは供給量からして難しい部分もありますので、まあその旬のものを八峰町の魅力として組み合わせたものというものもできるのではないかなと考えております。いつ来ても同じもの、おいしいものがあるよっていうところまでいければもちろん最高ですけども、できる限り、まあそういったものは将来的にですね供給量が伸びてくれば可能かと思えますけども、まあ現時点でここにあるものを効率よく組み合わせる新しいものを作り上げたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第58号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

これをもって令和7年第5回八峰町議会臨時会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

午前10時44分 閉 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 皆 川 鉄 也

同 署名議員 11番 山 本 優 人

同 署名議員 1 番 笠 原 吉 範

同 署名議員 2 番 伊 藤 一 八